

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	野生生物との共生推進費		事業開始年度	平成12年度	作成責任者
担当部局庁	自然環境局		担当課室	野生生物課	課長 塚本 瑞天
会計区分	一般会計		上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の推進	
根拠法令 (具体的な条項も記載)	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 第二条		関係する計画、通知等	保護増殖事業計画	
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境省では、希少猛禽類の保護の指針として平成8年に「猛禽類保護の進め方(特にイヌワシ、クマタカ、オオタカについて)」をとりまとめているが、近年の希少猛禽類の生息等状況を勘案し、指針の改定を行い、希少猛禽類の保護に資する。 また、エトピリカについて、その生息する地域社会と共生するための課題と具体的な取組の方向性を明らかにし、当該種の保全を推進し、絶滅を回避する。				
事業概要 (5行程度以内。別添可)	希少猛禽類の保護の指針として環境省がとりまとめた「猛禽類保護の進め方(特にイヌワシ、クマタカ、オオタカについて)」について、近年の希少猛禽類の生息等状況を勘案し、検討委員会において新たな知見をとりまとめ、指針の改定を行う。 また、エトピリカとの共生と循環の地域社会システムを構築するために、社会環境等調査、生息状況に関する検討会の開催、ワークショップの開催、共生ガイドライン及び行動計画の策定などを行う。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 専門家で構成する検討委員会を開催し、新たな希少猛禽類保護指針(案)を作成した。 地域住民と協働し、定置網漁に対するエトピリカの混獲防止をめざした「浜中モデル」構築事業をとりまとめた。 				
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度
支出先・使途の把握水準・状況	予算額(補正後)	36	18	15	
	執行額	39	21	12	
	執行率	108%	117%	80%	
	総事業費(執行ベース)	39	21	12	
自己点検	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施期間中における、検討会の打合せ等において随時事業者との連絡調整を行い、各事業が業務仕様書に基づき適正に実施されているかどうかを把握。 検討会実施時には環境省職員も出席し議論に携わった。 事業終了時には事業報告書により仕様書に基づき適正に実施したかを確認。 				
見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> 当事業については当初より3ヶ年の計画で進めてきたところであり、目的を達成したため平成21年度が最終年度にあたる。 				
化予算監視の所効見率					
補記					



